

使用済み「紙おむつ」の燃料化WG 概要

■WG設置の目的

使用済み「紙おむつ」の取り扱いは自治体によってまちまちであるが、高齢化や在宅介護の増加などから、市町村の一般廃棄物に占める割合も増加傾向にある。

水分を多く含み、焼却に負担がかかる廃棄物を少しでも減少させることが、焼却施設の耐用年数等を考慮しても必要となってきた。

現在、富良野市内において検討されている、燃料化実証実験を踏まえ、検証結果を広く周知することで、道内各市町村が抱える課題解決の一助とするものである。

■期待される効果（WGにおける成果は何か）

市町村における一般廃棄物の減少及び再生エネルギーの確保

■具体的なWGでの取組内容・スケジュール

◎実態把握 一般家庭及び施設等からの排出量、現状の処理方法等の把握

◎課題整理 回収から、燃料生成・搬出までの行程における課題の検証

◎スキームの整理・構築

他県での導入事例、富良野での実証実験を踏まえて検討

◎まとめ

WG 4回程度開催 …データ収集・整理、課題整理検討
内1回は、富良野市内における実証試験現地視察

■WGのメンバー

北清企業(株)、北清ふらの(株)、(株)Jプランニング、(株)スーパー・フェイズ
(株)マテック、石狩開発(株)、(有)道環、(株)イー・エフ・エッチコンサルタント
医療法人溪仁会、富良野市、石狩市

WG座長 : 北海道大学サステイナビリティ学教育研究センター
特任准教授 辻 宣行 氏

WG事務局 : (株)Jプランニング

■備考

「燃料化装置」については、現在、大阪などで制作等扱われているが、今後、道内において導入が進められる際には、道内事業者において、機器の製造等取り扱いを実施していく。

出席者名簿

所 属	氏 名
北海道循環資源利用促進協議会 循環資源活用部会部会長 (ホクレン農業総合研究所 顧問)	松田 従三
使用済み「紙おむつ」燃料化WG 座長 (北海道大学サステナビリティ学教育研究センター 特任准教授)	辻 宣行
北清企業(株) 代表取締役社長	大嶋 武
北清ふらの(株)	八丁 等
(有)道環 代表取締役	小堀 剛
(株)イー・エフ・エッチコンサルタント 代表取締役	柏谷 匡胤
(株)マテック	山本 寿彦
(株)マテック	田中 克宣
(株)マテック	杉山 力夫
医療法人溪仁会 定山溪病院	齊藤 秀樹
(株)スーパーフェイス 代表取締役社長	木村 幸弘
(株)Jプランニング 代表取締役	田河 泉
(株)Jプランニング	横井 英嗣
サンコービジネス(株) 代表取締役	木村 茂
(株)YSE 代表取締役	安江 眞
富良野市総務部 部長	近内 栄一
富良野市総務部市民環境課 課長	関根嘉津幸
富良野市総務部市民環境課	小笠原竹伸
上川総合振興局保健環境部環境生活課	井田 操
上川総合振興局保健環境部環境生活課	菱沼 貴志
上川総合振興局保健環境部環境生活課	野村 英治
独立行政法人北海道総合研究機構 工業試験場環境エネルギー部	上出 光志
独立行政法人北海道総合研究機構 工業試験場環境エネルギー部	出口 敏弘
独立行政法人北海道総合研究機構 環境科学研究センター環境保全部	阿賀 裕英
独立行政法人北海道総合研究機構 法人本部研究企画部	吉川 毅
北海道循環資源利用促進協議会事務局 (環境生活部環境局循環型社会推進課循環推進G)	今西 昌志
	岡田 朋子

使用済み「紙おむつ」の燃料化WGにおける検討概要図



